学校番号	107

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	公共 PUBLIC　（数研出版）						
副教材等	最新公共資料集 2026　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題に関する周辺知識を身に着ける→課題を理解する→課題の解決策を見出す→解決策を検証する」といった一連の過程の中で、現代の諸課題についての自分の考えを発表したり、議論したりする力を養っていきます。
・授業中に板書を書き写すことはもちろん、授業中に気づいたことやクラスメイトの発言など、積極的にメモ書きをとっていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・現代の諸課題を捉え考察する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
【思考力、判断力、表現力等】
・現代社会の諸課題の解決に向けて、事実を多面的・多角的に考察し判断する力や、国際社会における日本を広く相互的な視点から捉える力を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、社会の一員として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第一章　公共的な空間をつくる私たち	第１節　青年期と自己形成 1　青年期の意義と課題 2　自我の確立と自己形成 第２節　人間としての自覚 1　生きることと考えること 2　世界の宗教	a:青年期が抱える問題や、自己形成の過程が理解できている。世界３大宗教を中心に、世界の思想を理解し、かつ日本の思想と比較することができる。 b:青年期の諸課題を解決する方法を実際の生活の中でどのように実践していくのか多面的に考察することができる。日本と外国の文化・思想の違いが社	定期考査 確認テスト	定期考査 ノート提出 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

		課題学習 「人間にしかできないこと」	会にどのような影響を及ぼしているのかを考察することができる。 c:身近な人物を観察・調査して青年期をどのように乗り越えるのか考察することができる。身の回りで日本と外国の文化・思想の違いを調査することができる。			
	第三章　公共的な空間における基本原理	第1節　民主社会の基本原理 1 民主政治の始まりと基本的人権の保障 2 権力分立と法の精神 3 個人と社会とのかかわり 第2節　日本社会の基本原理 1 日本国憲法と基本原理 2 平等権・自由権 3 社会権・参政権・請求権 4 新しい人権・人権の国際的広がり 課題学習 「模擬選挙」	a:民主政治の始まりを歴史的な経緯を踏まえ理解し、それが日本国憲法の理念にどのように活かされ、民主主義を体現しようとしているのか理解できている。 b:日本国憲法における基本的人権の保障を、裁判判例を通じて考察することができる。 c:日本国憲法には明記されていない新しい人権や、国際的な人権の広がりについて、民主主義の基本原理を応用し、身近なものとして考察することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 ノート提出 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
後期	第四章　現代の民主政治と政治参加の意義	第1節　日本の政治機構 1 国会のしくみと役割 2 内閣のしくみと行政機構 3 日本の裁判制度と人権保障 第2節　政治参加と民主政治の課題 1 選挙と選挙制度 2 政党の役割 3 地方自治の現状と課題 4 世論の形成と現代民主政治の課題	a:日本の三権分立の原理、政治機構、中央政府と地方政治の関係性を理解できている。 b:日本の政治機構と諸外国の政治機構を比較し、日本の政治機構の問題点や課題を考察することができる。 c:参政権を中心に、個人ひとりひとりがどのように政治に関わり、参加していくのか政治を身近なものとして考察することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 ノート提出 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

		課題学習 「模擬裁判」	b:架空の事件を想定し、その事件の論点や課題を考察することができる。 c:架空の事件を想定し、裁判官，裁判員，弁護士，検察官の立場にそれぞれ分かれ、事件に対する判決を協働的に導き出すことができる。		ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	第六章　国際社会の動向と日本の役割	第1節　国際政治の動向 1 国際社会と国際法 2 国際連合の成立と組織 3 国際連合の役割と課題 4 戦後の国際情勢 第2節　国際政治jの課題と日本の役割 1 日本の安全保障と日米安保体制 2 軍縮への動き 3 現代の紛争 4 世界の人権問題と日本	a:国際社会の基本原理，戦後の国際関係の変化，国際経済の基本原理，国際経済のこれまでの歩みを理解している。 b:日本と諸外国を比較し、どのように国際社会を形成してきたのか、また経済的なつながりを広げてきたのか、考察することができる。 c:普段自分が食べているものなど、身近なものから外国とのつながりを意識し、自分自身が国際社会の一員であることを考えことができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 ノート提出 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度